

むさしの景観だより

歩いて考える景観まちづくりワークショップ第5回

「修了式・公開ワークショップ～みんなで景観マップを完成させよう～」を開催しました

第5号

平成27年
10月発行

9月6日（日）に、武蔵野プレイスにて景観まちづくりワークショップ第5回を開催しました。

まずはスライドを見ながら、これまで4回のワークショップを振り返りました。まち歩きでは、参加者がグループに分かれて地域を歩き「お気に入りスポット」のベスト5を選び、なぜその場所が良いのかについて考えてきました。まち歩きは3回実施し、武蔵境地域では農の風景、吉祥寺ではにぎわい、中央地域は住宅地の景観というテーマで、専門家のレクチャーから景観の読み解き方を学んできました。



レクチャーのようす

その振り返り後、8つのグループに分かれて、全5回のワークショップの締めくくりとして意見交換（ワールドカフェ）を行いました。1つ目のテーマ「私の好きな景観・お気に入りの景観」では、独歩の森や玉川上水など、緑や自然が感じられる場所が多く挙げられました。2つ目のテーマ「景観を守り育てていくためにできること」では、まちの魅力についての情報発信や、みんなで緑を守るための仕組みづくり等、多くの具体的な案が出され、活発な意見交換の場となりました。



修了式のようす

最後に武蔵野市長より全体講評があり、参加者の皆さんへ修了証と記念バッジをお渡ししました。参加者の皆さんからは「多様な年代の方が集まっていて、とても新鮮で勉強になった」「今回のワークショップだけで終わらずに、こういった景観に関する取組を継続してほしい」「また機会があれば参加したい」といったご意見をいただきました。



記念バッジ

守っていききたい、育てていききたい景観（*各グループからの意見を抜粋）

みどりの景観を守り育てよう

- ・緑や景観の大切さを知ろう
- ・緑の減少を食い止めるのは当然のこと。その上で、緑の質を高める工夫が必要

協働して課題解決に取り組もう

- ・個人、事業者、大学、行政などが協力、協働して取り組もう

景観を知る・意識することが大切

- ・土地や建物は自分のもの、しかし景観は公共のものという意識づくりを進めよう
- ・季節の木など、まちの話を気軽にしよう
- ・市民が景観やまちづくりについて学び・考える機会がもっとあれば良いと思う

景観まちづくりを考える仕組みが必要

- ・掃除など、みんなで緑を守るための仕組みをつくろう
- ・緑のポイント制などを導入して意識を高めよう
- ・隣近所で協力する仕組みをつくろう
- ・集合住宅に住む人たちも参加できる緑化活動をしよう
- ・建物の規制のルールによって気持ちのよい景観をつくろう
- ・大木など、地域のシンボルになるものを保護していこう
- ・地域の特徴的な景観、商店街などを守ろう

できることから始めてみよう

- ・景観の大切さをみんなに理解してもらうための情報発信の充実
- ・身近な場所から緑や花を増やしていこう

会場の中央には今回作成した大きな「ガリバーマップ」があり、参加者の皆さんに、特にお気に入りの景観に1枚ずつシール（水と緑の景観、にぎわいの景観、その他）を貼付けてもらいました。

このガリバーマップは、9月13日から23日まで武蔵野プレイスで開催される景観マップ展に展示されました。



ワールドカフェのようす



ガリバーマップ

問い合わせ

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市役所 都市整備部 まちづくり推進課

電話：0422-60-1872 ファクス：0422-51-9250

Eメール：SEC-MACHIDUKURI@city.musashino.lg.jp



Facebook ページ <https://www.facebook.com/musashinoscape>

いいね!